

平成30年度青森商工会議所

経営発達支援計画事業評価書

平成28年4月11日に国の認定を受けた「経営発達支援計画」に基づいて実施した事業について、客観的評価を行うための事業評価委員会(委員4名で構成)を開催し、次年度以降の各事業の見直し等につなげるための評価を行った。

評価基準は、

A⇒目標を達成することができた。

B⇒目標を概ね達成することができた。

C⇒目標を半分程度しか達成することができなかった。

D⇒目標をほとんど達成することができなかった。

目標に対しては、達成度合いでの評価とする。

評価者は、評価委員4名

○評価内容の記載してある下記表上段は、A・B・C・Dの内容に基づくもの。下段は、評価者4名の内、該当する評価を何人行ったかの人数を記載している。

A	B	C	D

令和元年6月

平成30年度 経営発達支援計画事業評価書 (3年目)

青森商工会議所

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

- (1) 経営アンケート調査
- (2) 中小企業景況調査
- (3) LOBO(早期景気観測)調査

(平成29年度)

A	B	C	D
3	1		

A	B	C	D
2	2		

【評価内容等】

【委員1】

調査結果は大変良くまとまっており、参考になる。従業員規模に応じた経営課題の集計があれば、規模に応じた、最重点事項の実施施策 KPI 設定が可能。

【委員2】

(2)、(3)とも目標値をクリアしており、(1)も目標値の50%にわずかに達していないが過去3年度で最も高い実績となっており、附帯調査でも消費税引き上げに関する課題のアンケート結果等重要なデータも回収出来ていたため評価される。アンケート結果から導かれる事業所のニーズを今後の計画策定等に役立てていただきたい。

【委員3】

経営課題アンケート調査は、中小事業者が抱える経営上の課題把握のツールとして有意義であり、分析結果を踏まえ、経営支援などに役立てていただきたい。

【委員4】

経営課題アンケート調査の回収率のアップに努力していただくとともに、消費税率引き上げの動向についてはさらにフォローアップが必要である。

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

- (1) 経営分析のための「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起し
- (2) 経営分析のための「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起し
- (3) 経営分析のための「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起し
- (4) 経営状況の分析

(平成29年度)

A	B	C	D
2	2		

A	B	C	D
	4		

【評価内容】

【委員 1】

(3)の実績が結果を示している。(2)については、ローカルベンチマーク→経営力向上計画や早期経営改善計画の必要性を訴え、早期・計画的に取り組むことにより、さらに効果が発揮できる。

【委員 2】

(3)については、金融支援分析件数が昨年度から大幅に増回しているが巡回指導による成果とのことであり、積極的な行動が大いに評価出来る。一方、(4)については昨年度比大幅増となっているが目標値とまだ開きがあるため、掘り起しで接点の出来た小規模事業者に対し「BIZミル」を有効に活用しさらなる支援の増加を期待したい。

【委員 3】

目標を概ね達成している。経営分析件数は目標を大きく下回っており、目標値に近づけていくよう関係機関との連携などの取組が必要と考える。

【委員 4】

巡回相談等小規模事業者に対する伴走型支援について、件数を伸ばしており一定の成果を上げた。

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

- (1)事業計画策定支援
- (2)小規模事業者経営改善資金融資事業（マル経融資制度）
- (3)小規模事業者経営発達支援融資事業
- (4)創業・第二創業支援
- (5)事業承継支援事業
- (6)経営安定特別相談事業

(平成29年度)

A	B	C	D
2	1	1	

A	B	C	D
	2	2	

【評価内容】

【委員 1】

(4)については、スタートアップセンターが有効に活用され、専門家活用やメンターとの連携による効果が発揮されている。今後、創業後の事業継続においても注視すべきである。(5)事業承継支援については、根本療法的に取り組むことが必要であり、指針①と関連付けた指導が必要。

【委員 2】

(2)マル経融資の件数は大幅に増加し目標に近い件数まで増加しており、掘り起しの成果及び事業者のニーズの高さが伺える。事業承継の相談件数が昨年度から減少しているため、ニーズの高い相談内容であるため相談の機会を増加するよう期待したい。創業については、重点的に支援しているが会議所での実績のみ件数としていたとのことであり、連携して創業した件数もカウントしてもよいのではないか。

【委員 3】

目標には概ね達していないものの、マル経融資の件数が伸びている点は評価できる。また、起業創業支援に関しては、平成 30 年 7 月青森商工会議所移転に伴う AOMORI STARTUP CENTER 開設により、更なる支援の充実が期待される。

【委員 4】

マル経融資については、伴走型支援の強化により件数を大幅に伸ばしたことは評価できる。また、創業についても一定の実績を上げた。今後、事業承継の円滑な推進について関係機関と連携して取り組む必要がある。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】.

- (1) 事業計画策定後の実施支援
- (2) 小規模事業者経営改善資金融資事業（マル経融資制度）
- (3) 小規模事業者経営発達支援融資事業
- (4) 創業・第二創業支援

(平成 29 年度)

A	B	C	D
2	2		

A	B	C	D
1	2	1	

【評価内容】

【委員 1】

創業支援は専門家の常勤により、相談実績・創業支援実績ともに大きな成果をあげている。今後、事業承継を視野に入れた「第二創業」に注力していただきたい。

【委員 2】

(2) については昨年度比 3 倍近い伸びを示しており、積極的に巡回し、指導・助言された成果が見られる。(3) フォローアップについてはタイミングもあるため、件数での判断は難しい。(4) 創業・第二創業支援については AOMORI STARTUP CENTER の開設もあり、目に見える支援が実施されている。

【委員 3】

事業計画策定後のフォローアップについてはおおむね目標をクリアしているものと考えている。

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

- (1) 需要動向調査
- (2) 『首都圏ビジネス交流拠点』における消費者ニーズアンケート調査
- (3) 「日経テレコン」を活用した需要動向調査

(平成 29 年度)

A	B	C	D
	4		

A	B	C	D
	2	2	

【評価内容等】

【委員 1】

(2) が全く活用されていない。報告では、経営指導員が専門家の意見を聞き、アドバイスすることで目的が達成されている。

【委員 2】

(1) 需要動向調査についてはブラッシュアップ調査結果により、適切にフィードバックが実施された点については評価したい。アンケート調査回数は1回であったが目標を上回る成果を得られていた点は評価出来る。

【委員 3】

(1) の需要動向調査は概ね目標を達成しているが、「日経テレコン」を活用した需要動向調査の実績が0件となっているため、計画見直し等の検討が必要と考える。

【委員 4】

小規模事業者の実情にあった需要動向情報の提供に成果を上げた。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

- (1) 販路開拓支援事業
- (2) 「会員事業所パートナーシップ支援事業」による販路開拓
- (3) 「大丸有つながる食プロジェクト」における販路開拓
- (4) ザ・ビジネスモールへの登録拡大による販路開拓支援

(平成29年度)

A	B	C	D
	4		

A	B	C	D
	3	1	

【評価内容等】

【委員 1】

展示会等参加支援企業数の目標14社に対し、実績3社(21.4%)。PRが必要。

【委員 2】

(1) については、参加企業数等は目標には到達していないが参加企業が具体的に商談成立・取引開始までの実績を得られたことは評価したい。(2) については、インバウンド観光客の先進県である函館市との連携でもあり、インバウンド対策の取り組みに関する成功事例等を紹介してもらうことも効果的ではないか。

【委員 3】

具体的に売り上げ向上につながった事例も出てきており、さらに支援策の有効活用によって効果が上がっていくことを期待したい。

II. 地域経済の活性化に資する取組

(平成29年度)

A	B	C	D
4			

A	B	C	D
3	1		

【評価内容等】

【委員1】

計画的に事業が行われ、成果をあげている。

【委員2】

会議所移転の効果もあり、まちなかキャンパスの講座、受講者数が伸びていることは歓迎される。その他、観光や経済活性化の事業にも積極的に取り組んでおり、高く評価出来る。今年度は、消費税増税のタイミングにも重なっているため、消費の落ち込みに対応する事業・企画を期待したい。

【委員3】

地域活性化事業として各種事業を積極的に実施しており、地域経済へ大きく貢献しているものと思う。今後とも継続して取り組んでいただきたい。

【委員4】

各項目ともに関係機関との緊密な連携のもとに着実な成果を上げている。

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事
2. 経営指導員等の資質向上等に関する事
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事。

(平成29年度)

A	B	C	D
3	1		

A	B	C	D
2	2		

【評価内容等】

【委員1】

今年度は企業訪問等により小規模事業者の掘り起し、指導・助言件数で大きな成果が出た年度でもあり、今後は経営指導員の資質向上がさらに求められると思われるため、継続した育成を期待したい。

【委員2】

各支援機関との連携や資質の向上により、具体的に事業者の経営力の向上や地域経済の活性化につなげていくことを期待したい。

【総括的評価内容等】

【委員 1】

事業が計画的に行われ、成果をあげているが、事業者をとりまく経営環境や社会環境の変化が激しく「経営発達支援計画」のブラッシュアップをしていかなければ、「変化」に対応できない。各種調査等の結果を踏まえ、「事業の評価及び見直しをするための仕組み」に重点的に取り組むことが必要。

【委員 2】

青森商工会議所の移転という大きな流れの中で多岐に渡る各種事業に取り組みながらも小規模事業者の掘り起し等で大いに成果が出たことは大いに評価出来る。来年度は計画期間の4年度目と期間の後半に差し掛かることからこれまで蓄積してきたノウハウを活かした事業展開を期待したい。また、会議所が良好な立地に移転したことからAOMORI STARTUP CENTERを始め地域経済活性化の拠点としての役割をこれまで以上に期待されると思われるため、効果的な事業の実施を期待したい。

【委員 3】

各事業については概ね計画に沿って実施されており、全体的に目標達成にまでは至っていないものの、一定の実績があったものとして評価した。なお、特に実績の低い項目(経営分析件数、「日経テレコン」を活用した需要動向調査等)については、事業内容の見直しや有効活用に向けた改善を行うなど、実績向上に努めていただきたい。

【委員 4】

時代のニーズが変化する中で、経済環境の変化に的確に対応していくためにも、当該経営発達支援計画の見直しも含めて検討していく必要があると考える。

【改善事項】

- ①経営状況の分析のための、小規模事業者の掘り起しを積極的に行う。
- ②事業計画策定支援を効果的に行うため、各補助金申請等を積極的に行うとともにそのフォローアップに努める。
- ③需要動向調査において、日経テレコン等を有効活用する。
- ④スタートアップセンター機能を有効に活用する。
- ⑤新たなる需要の開拓について、展示会等への積極的な参加により、参加企業数を増加させる。

以上